

Web給与明細

源泉徴収票 定義ファイル 作成マニュアル (令和7年対応版)

1、 行や列とは	P.3
2、 インポート定義ファイルとは	P.4
3、 Excel形式のデータをCSV形式で保存するには	P.5
4、 源泉徴収票定義ファイル	
4-1 源泉徴収票インポート定義ファイルの作成方法	P.6
4-2 控除対象扶養親族・16歳未満の扶養親族の入力方法	P.7
4-3 源泉徴収票定義ファイル項目番号と入力データ形式	P.8-11

1、行や列とは？

- ◆ ExcelやCSVファイルでは、横方向(1,2,3)を「行」、縦方向(A,B,C)を「列」と呼びます。
- ◆ 下図の「明」と書かれている「C5」セルは「5行」「C列」と呼びます。



	A	B	C	D	
1					
2	スタッフコード	姓	名	姓 ふりがな	名
3	A00035	鈴木	太郎	すすぎ	たる
4	T10231	田中	次郎	たなか	じろ
5	Y00102	加藤	明	かとう	あき
6	S31002	山田	寛	やまだ	ひろ
7	R02012	池田	雅弘	いけだ	まさ
8					

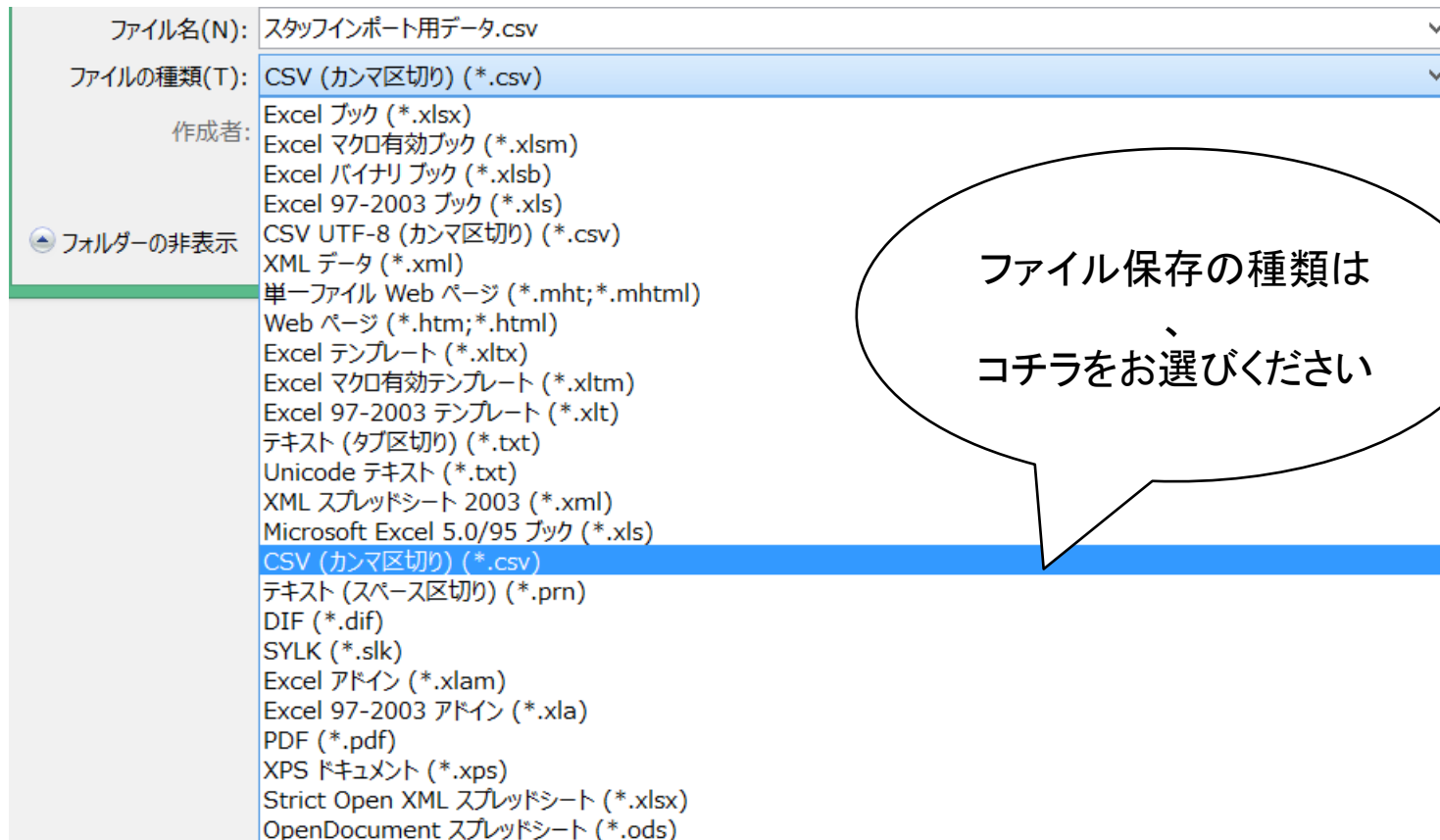
2、インポート定義ファイルとは

- ◆ 「WEB給」でデータをインポートするには
「インポートファイル」と「定義ファイル」の2ファイルが必要です。
- ◆ 「インポートファイル」と「定義ファイル」の違い
 - 1)「インポートファイル」
源泉徴収票の明細データが入力されているファイル
 - 2)「定義ファイル」
インポートファイル内の項目に対して、
どの項目に何をどのような形式で表示させるのかを指示するファイル
- ◆ このマニュアルではCSV形式の場合を例にご説明します
「WEB給」のシステムは、
「**CSV(カンマ区切り)**」又は「**タブ区切り**」の2形式のみインポート可能です。
Excelブック(.xlsx)などは読み取れません！

ファイル形式の変更方法は[次ページへ](#)(→P.5参照)

3、Excel形式のデータをCSV形式で保存するには

- ◆ Excelで「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリック
- ◆ 「ファイルの種類」で「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」を選ぶ
- ◆ ファイル名を指定して「保存」をクリック



4-1、源泉徴収票インポート定義ファイルの作成方法

- ◆ 弊社から提供する「インポートファイル」のテンプレートに合わせて、データをご入力ください。

サンプル画面 (.csvファイルをExcelで表示)

<定義ファイル>

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	7																
2	1	99	99	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
3	1			3	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3
4	支払いを受ける者			対象年度		支払いを受ける者			種別	支払金額		給与所得控除の源泉徴収税額			控除対象配偶者の有無等		
5	氏名			元号	年	住所又は居氏名			内書	支払金額		内書		税額	有	無	従有
6	受給者番号						役職名										

<インポートファイル>

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	1	99	99	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
2	1			3	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3
3	支払いを受ける者			対象年度		支払いを受ける者			種別	支払金額		給与所得控除の源泉徴収税額			控除対象配偶者の有無等		
4	氏名			元号	年	住所又は居氏名			内書	支払金額		内書		税額	有	無	従有
5	受給者番号						役職名										
6																	
7	W10100	山田	太郎	5	1	東京都千代田区千代田			給与・賞与	44441	6,478,512	44442	44443	33335	2,874,512	1	1
8	W10101	田中	二郎	5	1	東京都港区			給与・賞与		2,378,512	33332	33333				1

データファイルの読み方

1. 「定義ファイル」のセル「A1」にある数字＝「インポートファイル」の何行目から明細情報が始まっているか
2. 2行目：項目番号（→P.8-11参照）
3. 3行目：データ分類番号「文字列=1・金額=2・数値=3」
4. 4～6行目：項目名
5. 受給者番号から名前を割り当てますので「定義ファイル」の氏名列には無視する列を指示する「99」を入力します。
6. インポートファイルにも項目名と項目番号を挿入すると判別が付きやすくなります。

4-2、控除対象扶養親族(16歳未満の扶養親族の入力方法)

- ◆ 「氏名(項目番号:301~321)」「フリガナ(項目番号:401~421)」「区分(項目番号:501~521)」は「控除対象扶養親族」「16歳未満の扶養親族」共通で利用します。

「控除対象扶養親族」欄へ表示

→項目「控除対象扶養親族1-16歳未満(項目番号:601~621)の当該列」を空白で登録

	CI	CJ	CK	CL
1				
2	301	401	501	601
3	1	1	1	1
4	控除対象扶養親族1-氏名	控除対象扶養親族1-フリガナ	控除対象扶養親族1-区分	控除対象扶養親族1-16歳未満
5				
6				
7				
8	山田一郎太	ヤマダイチロウタ	1	

「16歳未満の扶養親族」欄へ表示

<サンプルインポートファイル>

→項目「控除対象扶養親族1-16歳未満(項目番号:601~621)の当該列」を空白以外で登録
(入力した文字は反映されません、ご注意ください。)

	CM	CN	CO	CP
1				
2	302	402	502	602
3	1	1	1	1
4	控除対象扶養親族2-氏名	控除対象扶養親族2-フリガナ	控除対象扶養親族2-区分	控除対象扶養親族2-16歳未満
5				
6				
7				
8	山田花子	ヤマダハナコ	1	1

<サンプルインポートファイル>

- ※ 書式について詳細は、国税庁の「令和元年 給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」をご参照ください。
<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/hotei/tebiki2019/PDF/03.pdf>

4-3、源泉徴収票インポート用定義ファイル(項目番号と入力データ形式(1))

源泉徴収票 項目名	項目番号	種別	最大文字数	入力例	備考
受給者番号※(支払いを受ける者)	1	文字列	20	W10100	<※必須項目> 受給者番号欄に記載される番号 「WEB給」に登録のあるスタッフコードと同一のもの
(支払いを受ける者-氏名)	99	文字列		山田	受給者の氏名は、「WEB給」に登録されたスタッフ名が反映されます。 (インポートデータ上の氏名は閲覧性を高めるため入力)
(支払いを受ける者-氏名-ふりがな)	99	文字列		太郎	
対象年度-元号	11	数値	1	5	源泉徴収票の年表示 元号は「1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成 5:令和」から選択 入力例を反映すると、「令和1年」となります(元年表示不可)。
対象年度-年	12	数値	2	1	
住所又は居所(支払いを受ける者)	13	文字列	100	東京都千代田区神田須田町2-2	
役職名(支払いを受ける者)	14	文字列	15	部長	
種別	15	文字列	10	給与・賞与	
支払金額-内書	16	金額	10	44441	
支払金額-支払金額	17	金額	10	6478512	
給与所得控除後の金額(調整控除後)	18	金額	10	44442	
所得控除の額の合計額	19	金額	10	44443	
源泉徴収税額-内書	20	金額	10	33335	
源泉徴収税額-税額	21	金額	10	1129200	
控除対象配偶者の有無等-有	22	数値	1	1	半角数字の「1」または空欄 「1」を入力すると、当該欄に「○」表記
控除対象配偶者の有無等-従有	24	数値	1	1	
控除対象配偶者の有無等-老人	26	数値	1	1	
配偶者特別控除の額	27	金額	10	260000	
扶養親族の数(配偶者を除く)-特定-人	28	数値	1	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-特定-従人	29	数値	1	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-老人-内書	30	数値	1	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-老人-人	31	数値	1	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-老人-従人	32	数値	1	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-その他-人	33	数値	2	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-その他-従人	34	数値	2	2	
障害者の数(本人を除く)-特別-内書	35	数値	1	2	
障害者の数(本人を除く)-特別-人	36	数値	1	2	
障害者の数(本人を除く)-その他-人	37	数値	1	2	

※注 平成30年度の記載項目改訂により項目番号23/25は非表示項目となりました。

インポートファイル、定義ファイルに非表示項目が残っていた場合も、WEB給のインポートは可能です。

4-3、源泉徴収票インポート用定義ファイル(項目番号と入力データ形式(2))

源泉徴収票 項目名	項目番号	種別	最大文字数	入力例	備考
社会保険料等の金額-内書	38	金額	10	50000	
社会保険料等の金額-社会保険料等	39	金額	10	73800	
生命保険料の控除額	40	金額	10	30000	
地震保険料の控除額	41	金額	10	40000	
住宅借入金等特別控除の額	42	金額	10	50000	
(摘要)	43	文字列	300		<p>以下の項目がある場合、必要な情報を文章で記載してください。</p> <p>1: 年途中で就職した方について、その就職前に他の支払者が支払った給与等を通算して年末調整を行った場合</p> <p>2: 「賃金の支払の確保等に関する法律」第7条の規定に基づき未払給与等の弁済を受けた退職勤労者</p> <p>3: 災害により被害を受けたため給与所得に対する源泉所得税及び復興特別所得税の徴収の猶予を受けた場合 (災害者欄に「1」入力の上で)</p> <p>「WEB給」内の自動処理で、上記以外の項目が摘要欄に追加されることがあります。</p>
配偶者の合計所得	44	金額	10	1000000	
旧個人年金保険料の金額	45	金額	10	300000	
旧長期損害保険料の金額	46	金額	10	200000	
未成年者	47	数値	1	1	半角数字の“1”または空欄 「1」を入力すると、当該欄に「○」表記
乙欄	48	数値	1	1	
本人が障害者-特別	49	数値	1	1	
本人が障害者-その他	50	数値	1	1	
寡婦	51	数値	1	1	
寡婦-特別 ※注	52	数値	1	1	
ひとり親	53	数値	1	1	
勤労学生	54	数値	1	1	
死亡退職	55	数値	1	1	
災害者	56	数値	1	1	
外国人	57	数値	1	1	

※注 令和2年度の記載項目改訂により項目番号52は非表示項目となりました。

4-3、源泉徴収票インポート用定義ファイル(項目番号と入力データ形式(3))

源泉徴収票 項目名	項目番号	種別	最大文字数	入力例	備考
中途就・退職-就職	58	文数値	1	1	半角数字の"1"または空欄 "1"を入力すると、当該欄に「○」表記
中途就・退職-退職	59	数値	1	1	
中途就・退職-元号 ※注	60	数値	1		中途就職・退職日の年月日表示 入力例を反映すると、「31年4月1日」となります。
中途就・退職-年	61	数値	2	31	
中途就・退職-月	62	数値	2	4	
中途就・退職-日	63	数値	2	1	
受給者生年月日-元号	64	数値	1	3	受給者の生年月日表示 元号は「1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成」から選択 入力例を反映すると、「昭和60年10月3日」となります。
受給者生年月日-年	65	数値	2	60	
受給者生年月日-月	66	数値	2	10	
受給者生年月日-日	67	数値	2	3	
未成年16歳未満人数	68	数値	2	1	
新生命保険料の金額	69	金額	10	111111	
旧生命保険料の金額	70	金額	10	111112	
介護保険料の金額	71	金額	10	111113	
新個人年金保険料の金額	72	金額	10	111114	
住宅借入金等特別控除可能額 ※1	73	金額	10	33335	
国民年金保険料等の金額 ※1	74	金額	10	33336	
居住開始年月日(1回目)-元号 ※1 ※注	75	数値	1		居住開始年月日表示 入力例を反映すると「30年4月1日」となります。
居住開始年月日(1回目)-年 ※1	76	数値	2	30	
居住開始年月日(1回目)-月 ※1	77	数値	2	4	
居住開始年月日(1回目)-日 ※1	78	数値	2	1	
非居住者である親族の数 ※2	80	数値	2	10	「控除対象配偶者-区分」または 「控除対象扶養親族1~20-区分」欄に「○」と表示される家族の人数
住宅借入金等特別控除適用数	81	数値	2		
居住開始年月日(2回目)-元号 ※注	82	数値	1		居住開始年月日表示 入力例を反映すると「31年4月1日」となります。
居住開始年月日(2回目)-年	83	数値	2	31	
居住開始年月日(2回目)-月	84	数値	2	4	
居住開始年月日(2回目)-日	85	数値	2	1	

※1 従来の書式では摘要欄記載でしたが、独立した表記欄になりました。

※2 項目番号80以降は、平成28年から追加された項目となります。

※注 平成30年度の記載項目改訂により項目番号60/75/82は非表示項目となりました。

4-3、源泉徴収票インポート用定義ファイル(項目番号と入力データ形式(4))

源泉徴収票 項目名	項目番号	種別	最大文字数	入力例	備考
住宅借入金等特別控除区分(1回目)	86	文字列	10	住	以下の記号のうち、当てはまるものを文字で入力してください。 「住」 一般の住宅借入金等特別控除(増改築を含む) 「認」 認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除 「増」 特定増改築等住宅借入金等特別控除 「震」 東日本大震災によって自己の居住の用に供していた家屋が居住の用に供することができなくなった場合で、平成23年から平成31年6月30日までの間に新築や購入、増改築をした家屋に係る住宅借入金等について、震災特例法第13条の2第1項「住宅の再取得等に係る住宅借入金等特別控除」の規定の適用を選択した場合 また、「住」「認」「増」が特定取得に該当する場合には、「(特)」を、「住」「認」「震」が特別特定取得に該当する場合には、「(特特)」を付記します。
住宅借入金等特別控除区分(2回目)	87	文字列	10	増(特)	
住宅借入金等年末残高(1回目)	88	金額	10	11117	
住宅借入金等年末残高(2回目)	89	金額	10	11118	
配偶者特別控除の対象となる配偶者	90	数値	1	1	半角数字の“1”または空欄「1」を入力すると、配偶者が特別控除配偶者として扱われます。その場合、配偶者の氏名等は控除対象配偶者欄ではなく、摘要欄に記載されます。
摘要(赤書)	91	文字列	100	〇〇条約〇〇条該当	租税条約に基づいて源泉所得税額の免除を受ける場合に記載。摘要欄の中で赤書されます。
基礎控除の額 ※1	92	金額	10	12001	
所得金額調整控除額 ※1	93	金額	10	23002	
扶養親族の数(配偶者を除く)-特親-人 ※2	94	数値	1	2	
扶養親族の数(配偶者を除く)-特親-従人 ※2	95	数値	1	2	
特定親族特別控除の額 ※2	96	金額	10	630000	

※1 項目番号92、93は、令和2年から追加された項目となります。

※2 項目番号94～96は、令和7年から追加された項目となります。

4-3、源泉徴収票インポート用定義ファイル(項目番号と入力データ形式(5))



源泉徴収票 項目名	項目番号	種別	最大文字数	入力例	備考
控除対象配偶者-氏名	300	文字列	30	山田いち子	配偶者氏名
控除対象扶養親族1~20-氏名	301 320	文字列	30	山田二郎	扶養家族の氏名(16歳未満も含め最大20名登録可能) 徴収票の表示欄に入りきらなかった扶養家族は、摘要欄に記載。
控除対象配偶者-フリガナ	400	文字列	60	ヤマダイチコ	配偶者のフリガナ
控除対象扶養親族1~20-フリガナ	401 420	文字列	60	ヤマダジロウ	扶養家族のフリガナ
控除対象配偶者-区分	500	文字列	1	1	配偶者が非居住者の場合、半角数字の「1」にしてください。 「1」を入力すると、「○」表記
控除対象扶養親族1~20-区分 控除対象扶養親族1~20-区分 16歳未満	501 520	文字列	1	1	扶養家族が非居住者の場合、半角数字の「1」にしてください。 「1」を入力すると、「○」表記
控除対象扶養親族1~20 16歳未満	601 620	文字列	1	1	「16歳未満の扶養親族」欄へ表示させる場合、半角数字の「1」にしてください。 空欄以外「1」=徴収票の「16歳未満の扶養家族」欄に表示。 空欄 = 徴収票の「控除対象扶養親族」欄に表示。 入力例のように1を入力した場合 「16歳未満の扶養家族」欄に「山田二郎」が表示されます。

J-MOTTOお客様サポートセンター

TEL 0120-70-4515 (通話料無料)

平日10:00～17:00 (土・日・祝日休)

チャット <https://www.j-motto.co.jp/00000000/manual/>

(上記WEBサイト内右下部)

平日09:00～18:00 (土・日・祝日休)

メール support@j-motto.co.jp

操作方法や設定でご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。